



2016年度決算説明会

2017年5月10日



朝日工業グループ

(証券コード 5456)

2016年度決算

2016年度実績（連結）

● 売上高 32, 354百万円

● 営業利益 1, 200百万円

● 経常利益 1, 115百万円

● 当期利益 820百万円

前年度との比較

➤ 減収減益ながら、厳しい環境下で黒字確保

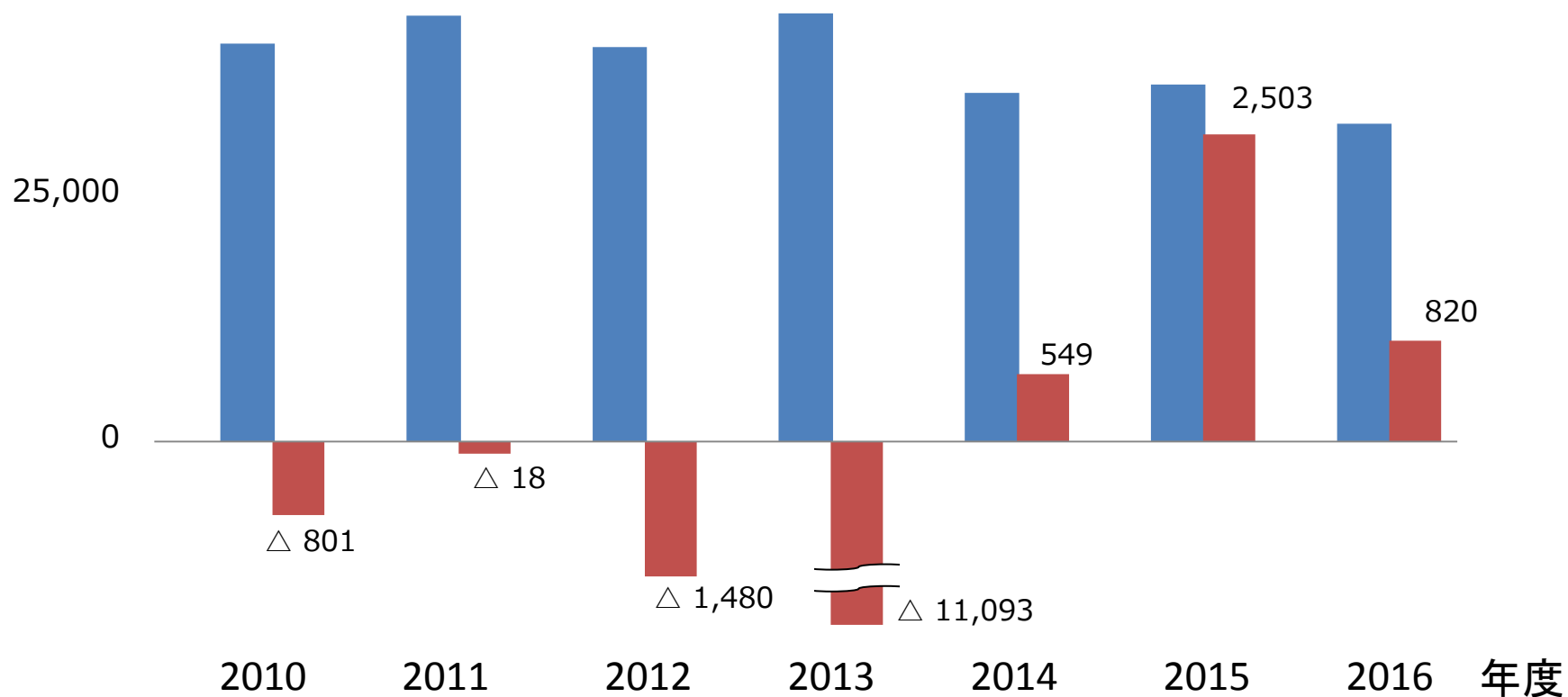
(百万円)	2015年度 実績	2016年度			
		実績	対前年度 増減率	期初予想	対期初予想 増減率
売上高	36,348	32,354	△11%	33,000	△2%
営業利益	1,915	1,200	△37%	1,500	△20%
経常利益	1,931	1,115	△42%	1,500	△26%
当期利益	2,503	820	△67%	1,300	△37%

業績推移

➤ 3期連続黒字達成

売上高（百万円）
50,000

■ 売上高
■ 当期利益



連結貸借対照表

➤ 自己資本比率は30.6%

(百万円)	2016年3月末 実績	2017年3月末 実績	差異
資産の部	25,828	27,507	1,679
現預金	2,640	3,336	696
有形固定資産	10,116	10,611	495
負債の部	18,111	19,102	991
有利子負債	9,923	10,698	775
純資産の部	7,716	8,404	688
純有利子負債	7,283	7,361	78
自己資本比率(%)	29.9%	30.6%	0.7pt

連結キャッシュフロー

(百万円)	2015年度 実績	2016年度 実績	差異
営業キャッシュフロー (うち減価償却費)	3,852 (1,022)	1,410 (1,022)	△2,442 (-)
投資キャッシュフロー (うち有形固定資産取得)	△61 (△556)	△ 1,095 (△1,274)	△1,034 (△718)
財務キャッシュフロー	△2,639	388	3,027
現金及び現金同等物の 期末残高	2,640	3,336	696

経営指標

	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績
経常利益率	1.0%	5.3%	3.4%
R O E	9.8%	36.4%	10.2%
純有利子負債 (億円)	110	73	74

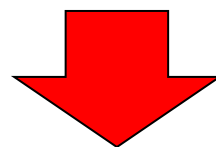
(注) 純有利子負債 = 有利子負債 - 現預金

鉄鋼建設資材事業

関東地区小棒生産販売数量トップグループの地位確保・堅持

中計戦略

- ① 高強度鉄筋、太径鉄筋、ねじ節鉄筋への経営資源シフト
- ② 電力原単位の低減など本源的なコストダウンの追求
- ③ 製品ポートフォリオの見直しなどによる生産性向上

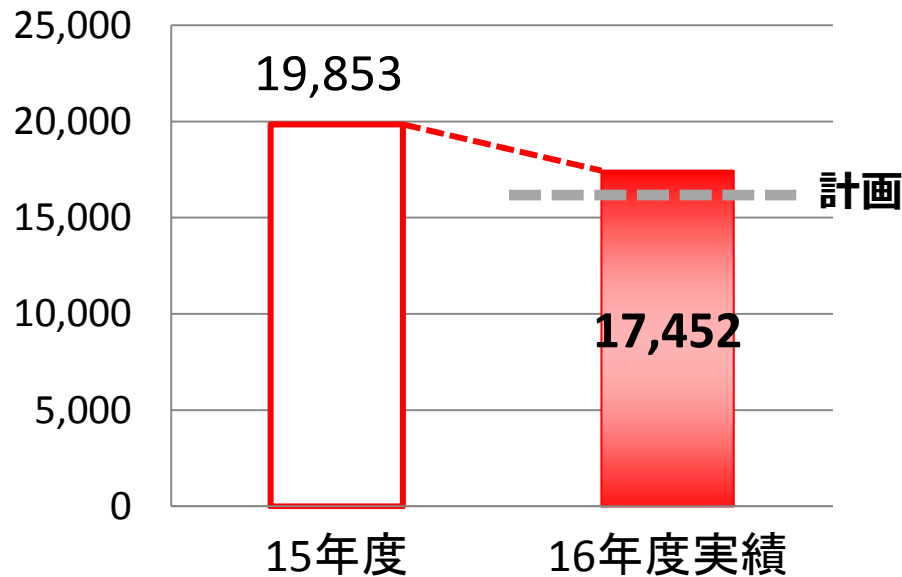


2016年度施策

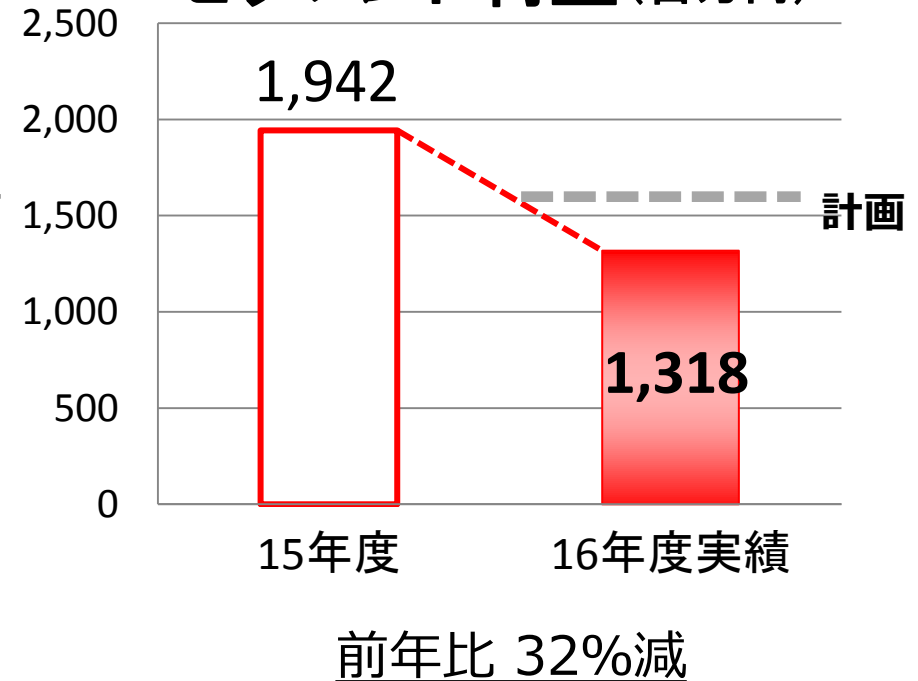
- ① 太径鉄筋の比率拡大へ向けた
土木物件確保への取り組み拡大
- ② 電力原単位低減などのコストダウン推進
- ③ エポキシ鉄筋からの撤退

鉄鋼建設資材事業

売上高(百万円)



セグメント利益(百万円)



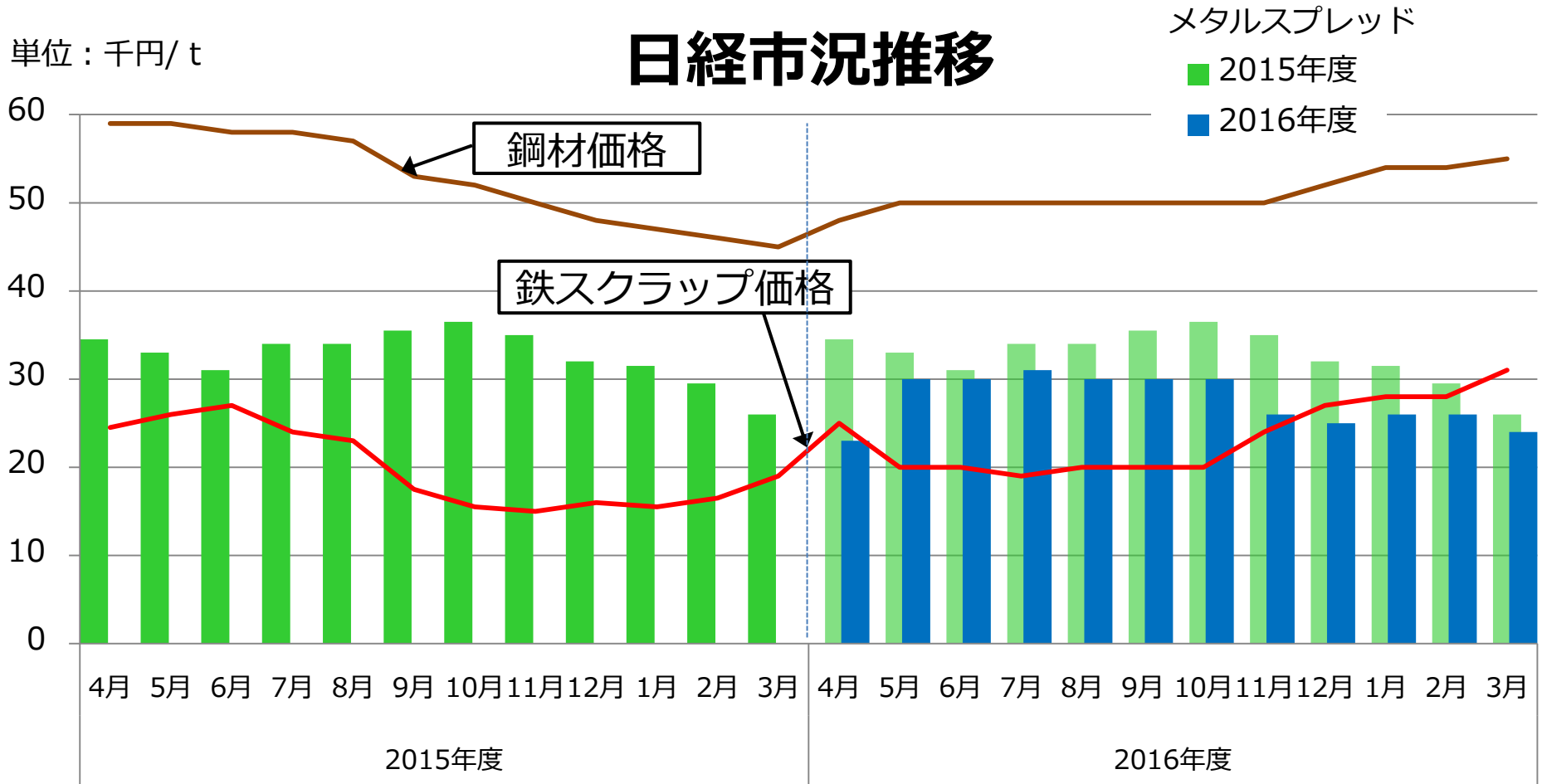
× 鋼材市況の停滞、需要低迷

○ エネルギー価格の低位推移、コストダウン効果

× メタルスプレッド縮小

➡ 減収減益

鉄鋼建設資材事業

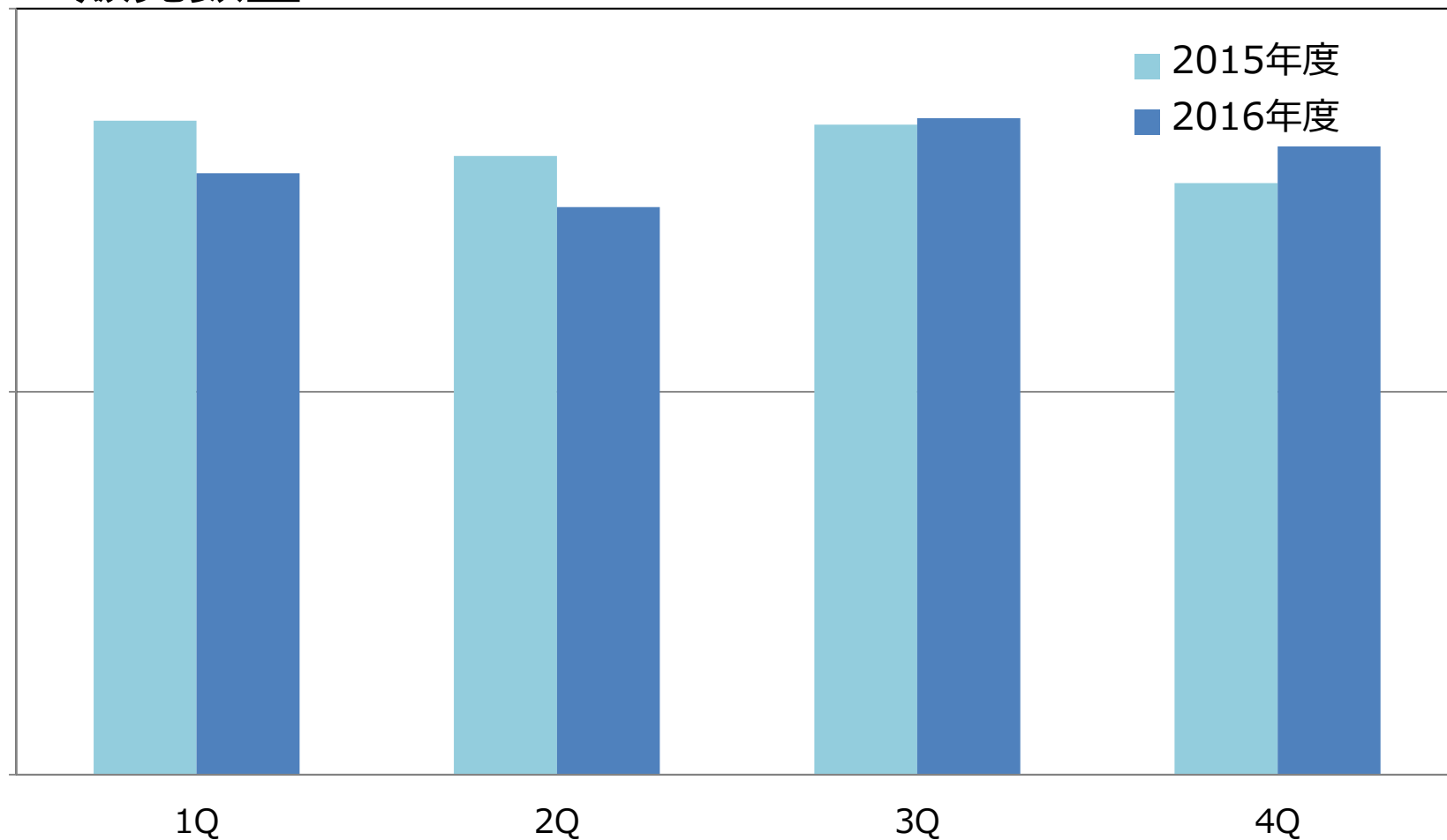


鋼材価格：日経新聞daily SD295A D16東京月末安値

鉄屑価格：日経新聞weekly 特級東京月末高値（毎週木曜日掲載）

鉄鋼建設資材事業

販売数量

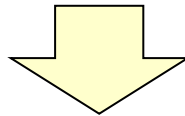


碎石砕砂・マテリアルサイクル事業

埼玉県ナンバー1の地位堅持とシェア拡大

中計戦略

新砧区確保によるシェア拡大

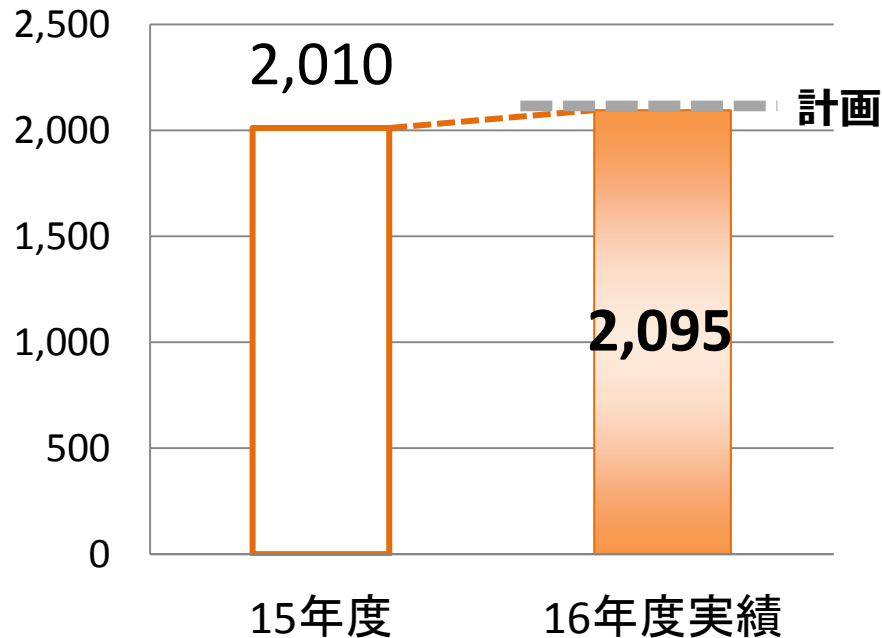


2016年度施策

- ・ 新砧区取得（2016年11月）
- ・ 新砧区原石の投入に向けた原石運搬道の造成（2017年10月供用開始予定）

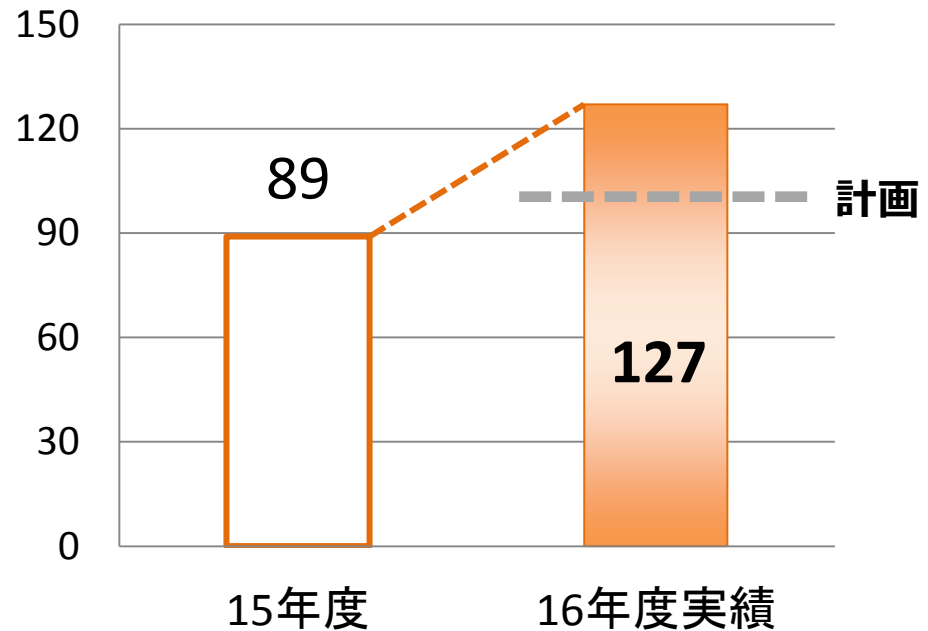
碎石砕砂・マテリアルサイクル事業

売上高(百万円)



前年同期比 4%増

セグメント利益(百万円)



前年同期比 43%増

○新砦区取得

○生コン向け需要の回復などによる販売増加

➡ 増収増益

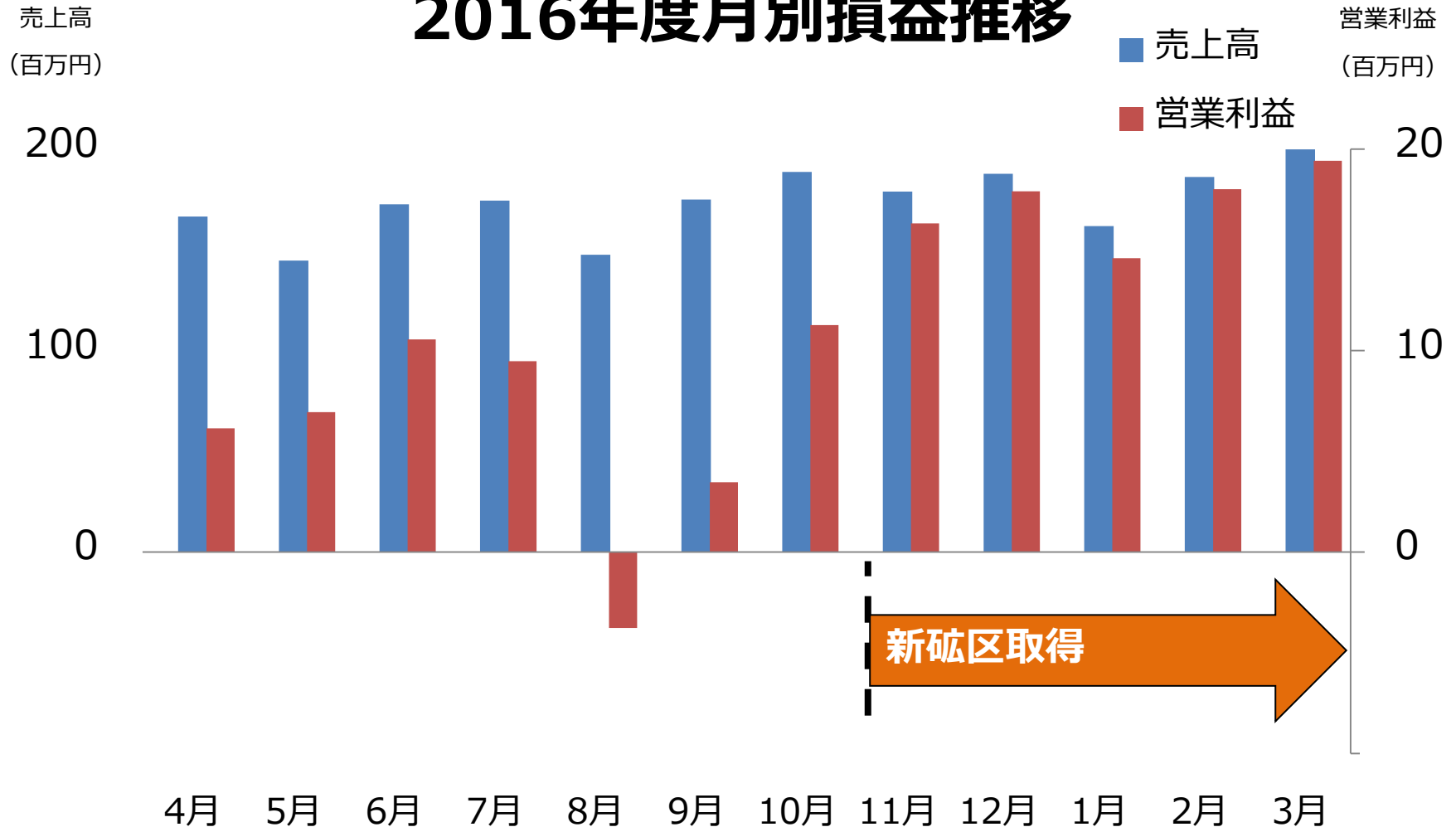
碎石砕砂・マテリアルサイクル事業

- ・ 2016/11 約30万m³（東京ドーム6個分）の新砵区取得。原石の推定埋蔵量3,500万トン
- ・ 2017/10 新砵区と既存プラントを繋ぐ原石運搬道供用開始予定



碎石砕砂・マテリアルサイクル事業

2016年度月別損益推移



農業資材事業 ①肥料事業

種子と牧草というスペシャリティを持った肥料メーカーとしての発展

中計戦略

- ① **粒状有機質肥料**の製造・販売数量拡大
- ② **未利用資源活用**による原料開発と
3工場一体運営のスタート

2016年度施策

- ① **組織改編(営業体制一元化)** による
営業の効率化、提案営業の推進
- ② **主力商品エコレット**^(注) 販売数量増加 (対前年比+70%)
- ③ **自社原料比率は前年度比増** (計画通りの進捗)
- ④ **3工場の生産効率化** (関東→千葉、千葉→関西)

(注) 堆肥と普通肥料を混合造粒した肥料 (混合堆肥複合肥料)



農業資材事業 ②種苗事業

中計戦略

- ① **自社品種**の開発と国内外への販売拡大
- ② **組織体制の変更**
(営業体制の一元化、開発と営業の連携強化)

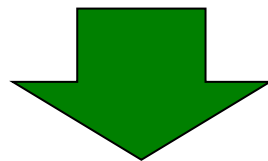
2016年度施策

- ・ **自社品種の販売促進**
 - ✓ トマト : 新品種「有彩（ありさ）」の本格販売開始
 - ✓ カボチャ : 試作・販売エリア拡大
 - ✓ 台木 : 上海恵和種業有限公司（中国）と
独占販売契約締結

農業資材事業 ③乾牧草事業

中計戦略

豪州2位の事業規模を誇るJ.T.ジョンソンとの
合併会社**ジョンソン朝日**との一体運営

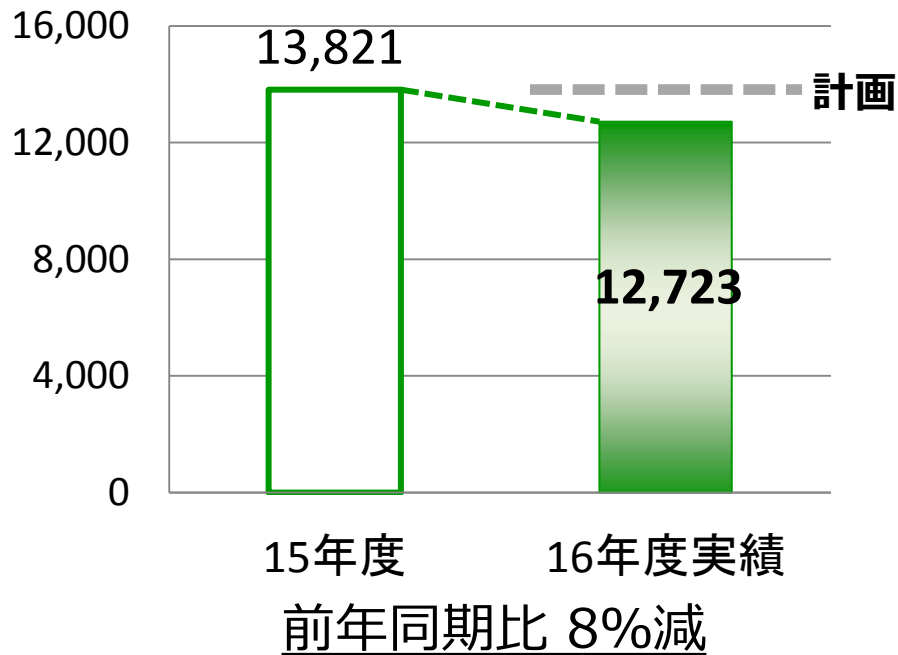


2016年度施策

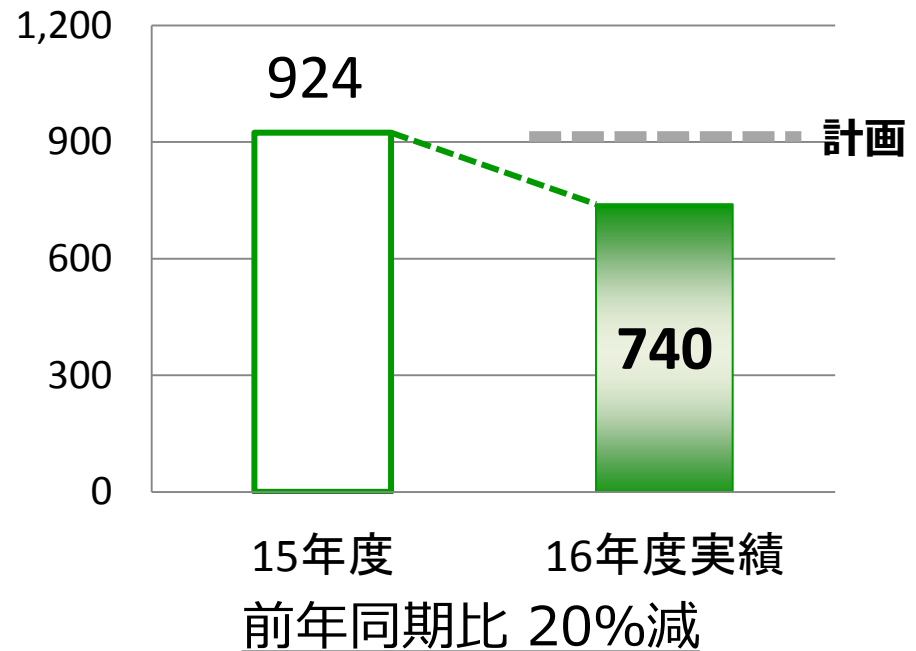
- ジョンソン朝日の販売数量は、中国向けを中心に
堅調に推移
(販売数量 + 2%。うち中国向け + 10%)

農業資材事業

売上高(百万円)



セグメント利益(百万円)



○販売数量は増加

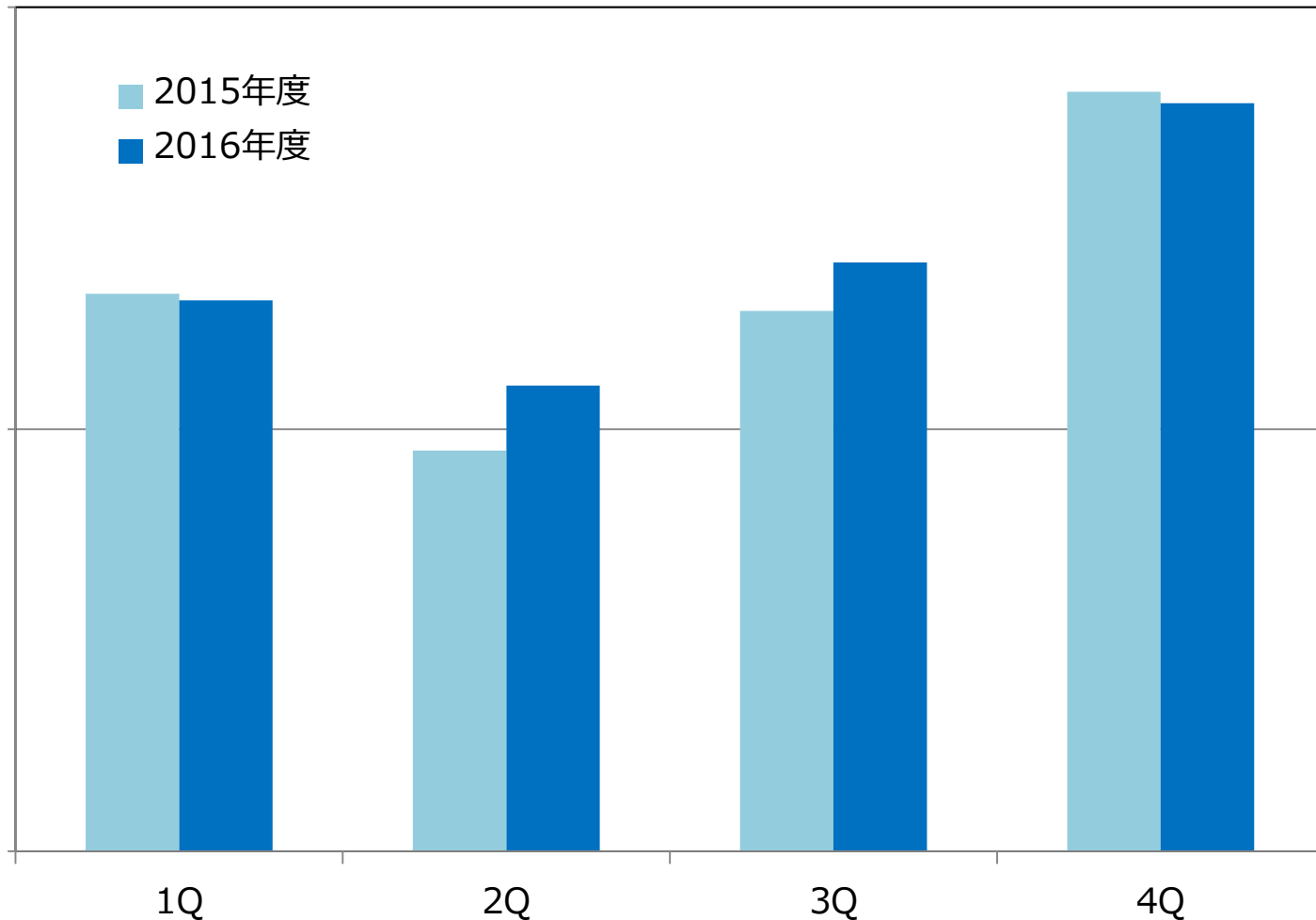
×販売単価の下落を主因に減収

×豪州朝日は為替影響もあり減益

➡ 減収減益

農業資材事業

有機質肥料販売量



セグメント売上高・利益

(百万円) 上段：売上高 下段：セグメント利益	2015年度 実績	2016年度	
		実績	前年度比
鉄鋼建設資材 事業	19,853	17,452	△12%
	1,942	1,318	△32%
碎石砕砂・ マテリアルサイクル事業	2,010	2,095	+ 4 %
	89	127	+43%
農業資材事業	13,821	12,723	△8%
	924	740	△20%

2017年度計画

中期経営計画基本戦略

ASAHI 2018 プロジェクト

中期経営計画 基本戦略

- 「スペシャリティ分野(強みを有する分野)」への経営資源のシフト
- ガバナンス体制、業務執行における経営の刷新(迅速性・透明性の向上)
- 強固な財務基盤の再構築

戦

事業戦略

- ◆ 技術・開発力に裏打ちされた製品の製造、販売にリソースを集中し、
「スペシャリティ分野(強みを有する分野)」を強化
- ◆ 原単位低減、生産性向上等、本源的なコストダウンの追求

略

経営基盤強化戦略

- ◆ 監査等委員会設置会社への移行、組織改正、会議体見直し等による
ガバナンス体制の刷新
- ◆ 執行役員制度の導入、人事制度の改定等による「人財」基盤の充実

財務戦略

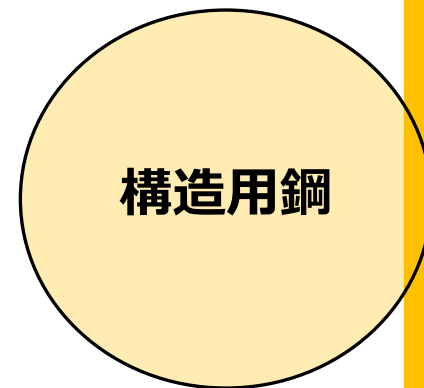
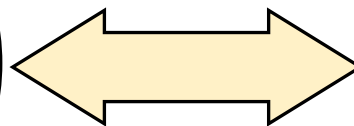
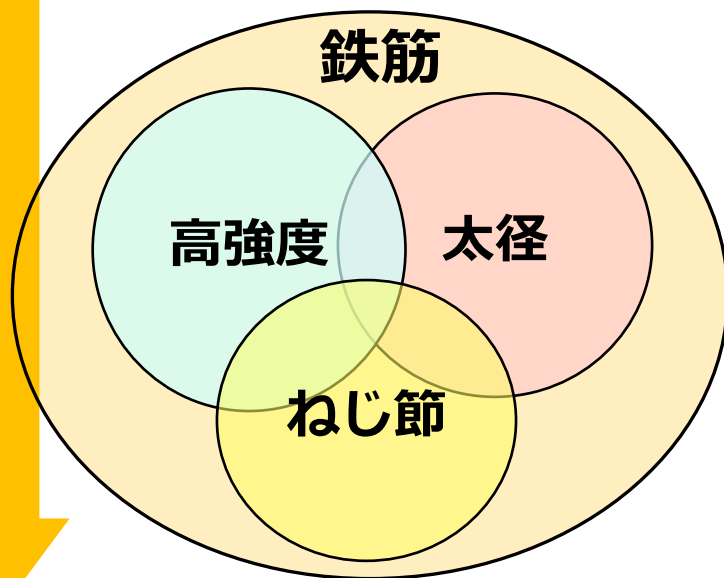
- ◆ 安定収益による有利子負債圧縮

事業戦略（鉄鋼建設資材事業）

メタルスプレッドの確保とコストダウン

スペシャリティ分野への
経営資源シフト

製品ポートフォリオの
見直し



- ・ 高強度アイテムの拡充
- ・ ねじ節鉄筋分野への設備投資(カラーマーキング)

- ・ 特殊鋼生産再開

事業戦略（農業資材事業）

肥料

有機質肥料への経営資源シフト

- ①主力商品**エコレット**の拡販
- ②**東北エリア**における販売拡大と
種苗事業と連動した**北海道、九州**販売戦略
- ③**銘柄集約**への積極的提案
- ④**千葉工場**の増強

種苗

自社品種の拡大

- ①国内外への**販売拡大**
- ②**安定的生産体制**の確立

牧草

世界需要の伸びへの対応

ジョンソン朝日の設備増強

経営基盤強化戦略

当社の経営基盤強化戦略

関係会社の事業戦略

概ね完了

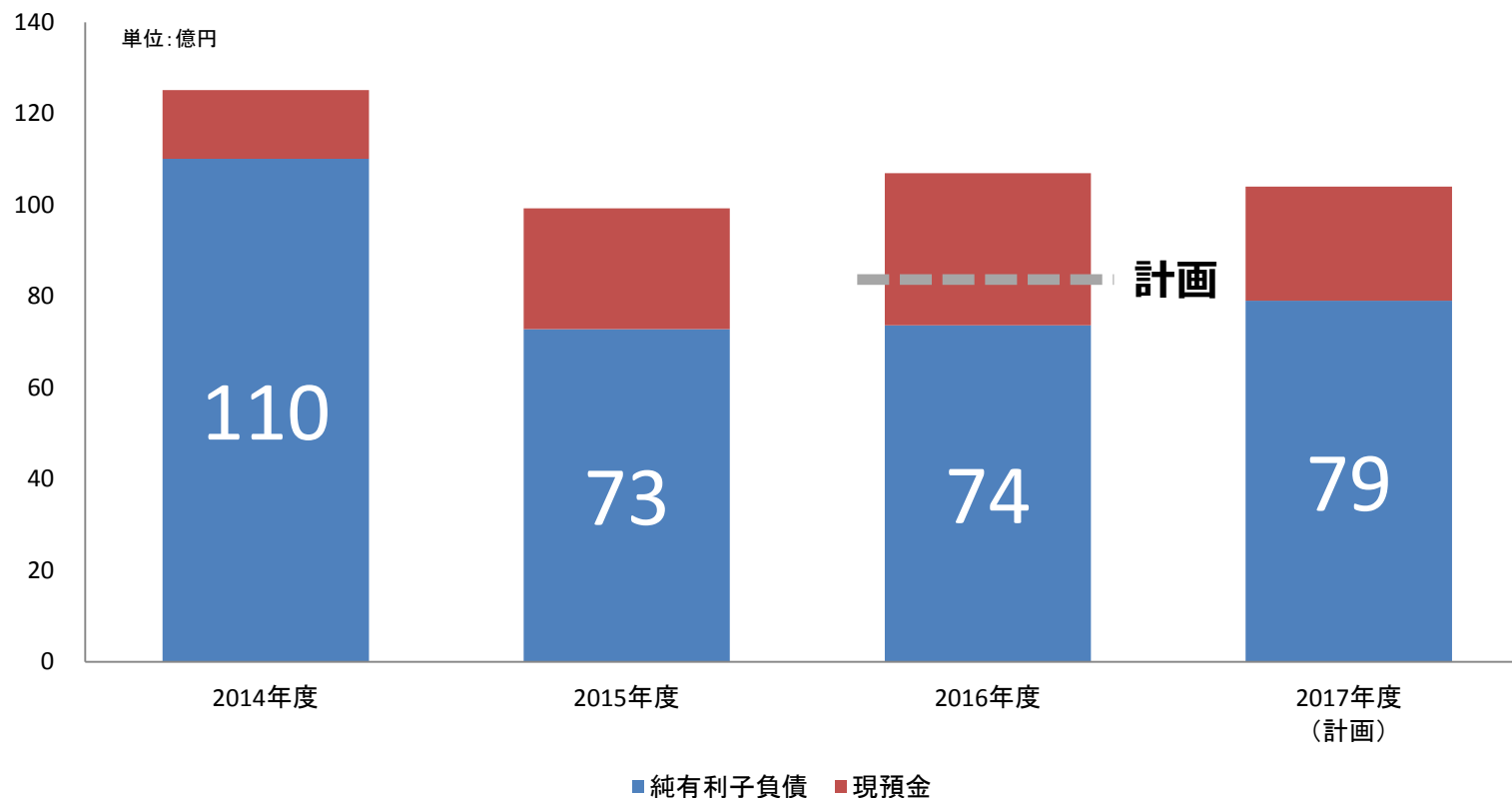
整備・導入された経営基盤

運用の高度化

関係会社への展開

財務戦略

➤ 純有利子負債は計画達成 → 借入構造の変革



(注) 純有利子負債 = 有利子負債 - 現預金

2017年度計画

➤ 2018年度中計目標数値は不変

(百万円)	2016年度 実績	2017年度		2018年度
		計画	対中計 増減	中計目標
売上高	32,354	37,000	+ 1,000	37,000
経常利益	1,115	1,700	△200	2,100

(注) 中計: 2016年5月10日発表「中期経営計画(ASAHI2018プロジェクト)」

セグメント売上高・利益

(百万円) 上段：売上高 下段：セグメント利益	2015年度	2016年度	2017年度
	実績	実績	計画
鉄鋼建設資材 事業	19,853	17,452	21,600
	1,942	1,318	1,800
碎石砕砂・ マテリアルサイクル事業	2,010	2,095	2,200
	89	127	140
農業資材事業	13,821	12,723	13,200
	924	740	900

経営指標

(百万円)	2016年度 実績	2017年度	
		計画	対中計 増減
経常利益率	3.4%	4.6%	△0.7pt
R O E	10.2%	16.3%	△1.8pt
純有利子負債 (億円)	74	79	△8

(注) pt : ポイント

配当

- 配当方針「安定した利益還元の継続を基本」とする

	1株当たり年間配当金（円.銭）		
	第2四半期末	期末	合計
2016年度	10.00 (実績)	20.00 (予定)	30.00 (予定)
2017年度	10.00 (予定)	未定	未定

(注)2016年度の期末配当については、1株につき20円（年間30円）とする案を第26期株主総会にお諮りする予定。

本資料お取扱上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行なっておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。